

# 取扱説明書

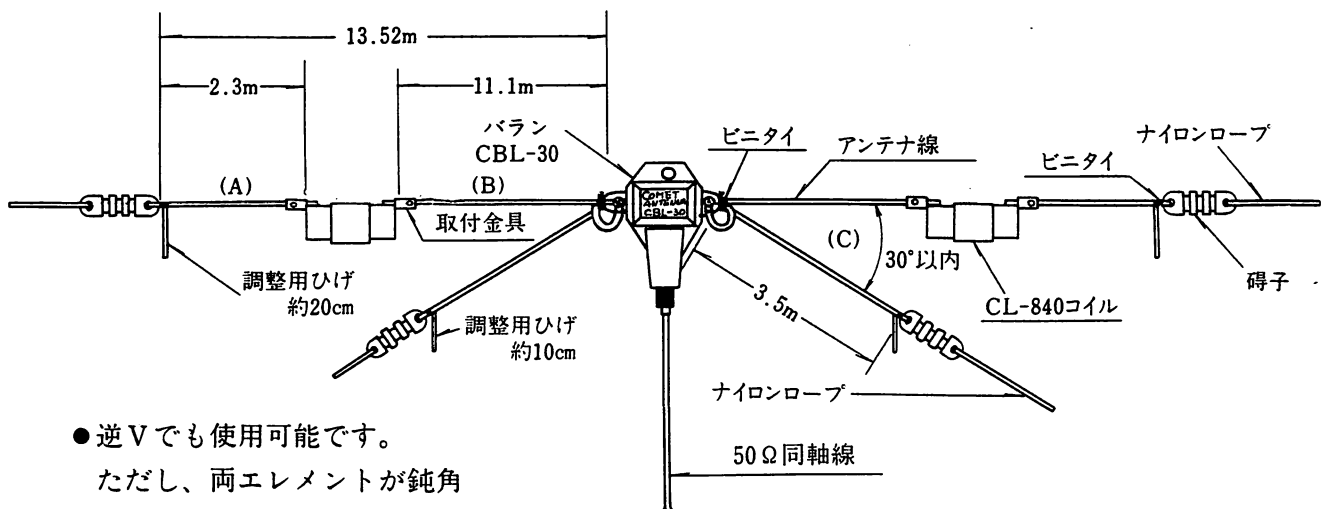
COMET ANTENNA

## HF帯 3バンド ダイポールアンテナ MODEL CWA-371 (3.5, 7, 21MHz)

御買上げいただきまして誠にありがとうございます。

このアンテナの組立ては、ドライバー・ニッパ・スパナ等で簡単に組み立てられ、ハンダ付などは必要としません。又、アンテナ線には撚線を使用し、透明ビニール被覆をしてありますので、柔軟性があり、曲げに強く耐候性に富んでいます。アンテナとしては基本的なものですが、調整が取れないと十分に性能が発揮出来ない事がありますので、説明書をお読みの上、作業を行ってください。

### 〔組立図〕

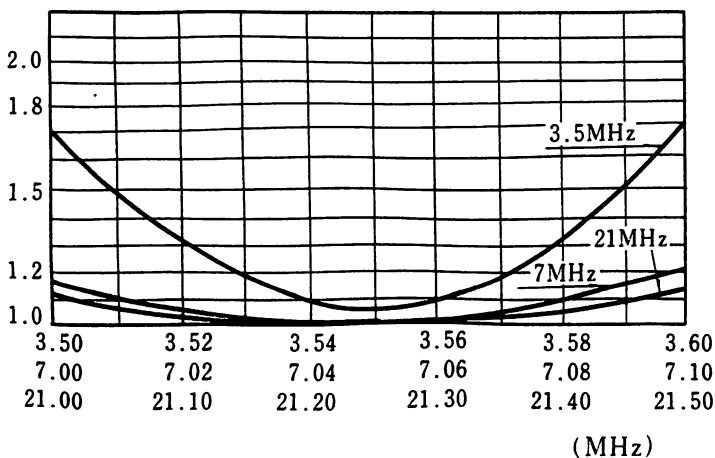


- 逆Vでも使用可能です。  
ただし、両エレメントが鈍角  
(120°)以上。

### 定 格

周波数帯	3.5、7、21MHz
入力インピーダンス	50Ω
耐電力	500W (PEP) 300W (CW)
V SWR	1.2以下
全長	27.2m

### 〔V SWR特性〕



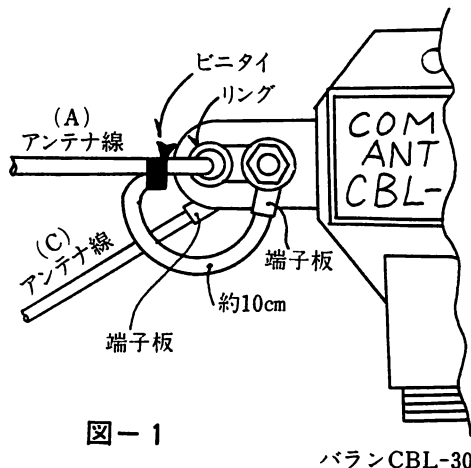
### 新風を送る技術の コメット株式会社

本 社 営 業：〒335 埼玉県戸田市美女木1230 ☎ 0484-21-7921(代)  
 FAX. 0484-22-1038  
 大 阪 営 業 所：〒560 大阪府豊中市堂池町2-4-5都ビル1F ☎ 06-844-0693  
 FAX. 06-853-2011  
 仙 台 営 業 所：〒982-01 宮城県仙台市上飯田横堀87-1 ☎ 022-285-9506  
 FAX. 022-285-9507  
 工 場 開 発 倉 庫：〒335 埼玉県戸田市美女木1227-3 ☎ 0484-21-7798

性能向上の為、予告なく外觀、仕様が変更する事があります。

## 〔組立方法〕

1. バランへのアンテナ線(A), (C)の取り付けは、(A)の方は、バランの腕の所に付いているリングの中に線を入れ、リングから約10cm程度の所を、包装用ビニタイ（アンテナ線を縛っていた紐）でしっかり縛ります。そして(A)と(C)の端子板を、ナベビスでバランの腕の両側に1個ずつ取り付け、しっかり締め付けてください。（図-1 参照）



2. コイルへのアンテナ線の取り付けは、コイルの両端に付いている取付金具の穴の中へ線を奥まで入れ、ナベビスでしっかり固定してください。その際、アンテナ線の被覆をはがす必要はありません。

3. 碍子へのアンテナ線の取り付けは、バランの時と同じ様な形になります。ただし、同調周波数調整用のひげを付けますので、バランの時よりアンテナ線を多く取り（約20cm程度）、ビニタイでしっかり縛りつけた後、組立図の様に下に垂らしておきます。(C)のひげは、約10cm程度で結構です。

## 〔調整方法〕

1. 最終的に使用する状態にアンテナを張ってから調整には行ってください。（低い所で調整した後、高く上げると同調周波数が高く変化する事があります。）始めに、7 MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(A)エレメント(11.1m)の取付金具のビスをゆるめ、少しずつ切りつめてゆきます。10 cm切ると、約70KHz高い方に同調します。
2. 7 MHz帯が目的の周波数に同調しましたら、3.5MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(B)エレメント(2.3m)の調整用ひげを少しずつ切りつめてゆきます。10 cm切ると、約60KHz高い方に同調します。
3. 次に21MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(C)エレメント(3.5m)の調整用ひげを少しずつ切りつめてゆきます。2 cm切ると、約100KHz高い方に同調します。

## 〔ご注意〕

- エレメントを切る場合、一度に多くの量を切らないで、少しずつ切りつめてゆく様にしてください。
- 設置場所は、なるべく近くに建物などの物体の少ない所を選んでください。
- バランのコネクター部分には、防水の為、付属の自己融着テープを約2倍の長さに引張りながら、巻き付けてください。そして、その上からビニールテープを巻き付けていただければ、防水は完全です。